

栄養マネジメント部

1. スタッフ

部長（兼）教授 下村 伊一郎

その他、教授 1 名、助教 1 名、栄養管理室長 1 名、管理栄養士主任 2 名、管理栄養士 8 名、調理長 1 名、調理主任 2 名、調理師 2 名（兼任・非常勤を含む。）

2. 活動内容

当部は、栄養サポート部門（NST）、栄養代謝制御部門、栄養治療食管理部門及び栄養管理室の 4 部門から構成され、いずれも医師及びメディカルスタッフを含めた専門医療スタッフが参加している。

栄養サポート部門（NST）では、栄養管理に関する専門知識を有する医師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、看護師が、組織横断的な医療チームを形成し、栄養障害に陥っている患者に対し、栄養アセスメント、静脈経腸栄養管理、合併症対策等の指導を行うことで、治療成績の向上を図っている。特に、中心静脈栄養（TPN）を中心とした栄養管理を必要とする急性期症例、臓器移植症例、化学療法施行症例等において、先端的な栄養管理法の確立を目指している。

栄養代謝制御部門では糖尿病や脂質異常症や肥満症などの『過剰栄養』を対象とする。全診療科の患者のうち、これらの患者を抽出し、栄養管理、指導を効果的に実施することで、治療効果の向上、合併症の予防、ひいては生命予後及び QOL の改善を目指す。

栄養治療食管理部門では、栄養治療の一環として患者給食を提供している。一般治療食では、栄養バランスを考慮した食事に、選択メニューを取り入れることで、満足度の向上を目指している。糖尿病や腎臓病などの特別治療食は、退院後の食生活の基本となる栄養管理を行うことで、栄養指導の一環をも担っている。

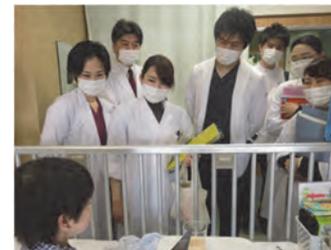
これら 3 部門の連携を図りながら、様々な栄養学的領域での基礎的・臨床的データの分析を進めている。また、医学系研究科及び医学部医学科、保健学科の学生、研修医や他の医療従事者に対し、臨床栄養に関する教育を実施することで、同分野における教育レベルの向上を図っている。

3. 活動体制

(1) 栄養サポート部門（NST）

1) NST 構成メンバー

- ・医師 3 名
- ・臨床検査技師 1 名
- ・薬剤師 2 名
- ・管理栄養士 2 名
- ・看護師 1 名



NST 回診風景

2) NST 活動

活動内容	曜日	時間	場所
症例検討会	木曜日	9:00～10:00	栄養管理室
回診	木曜日	10:00～12:00	各科病棟
勉強会	不定期		

(2) 栄養代謝制御部門

（過剰栄養管理・特殊病態栄養管理）

1) 栄養食事指導

内容	項目	曜日	時間	場所
個人	入院	月～金	10:00～ 16:00	各科病棟 面談室
	外来	月～金	9:30～ 14:30	栄養相談室
糖尿病 集団	入院	隔週 水	13:05～	東 12 階 カンファレンス
	外来		14:05	
心不全 集団	入院	第 2 木	16:00～ 17:00	東 9 階 リハビリテーション室

2) 糖尿病透析予防指導

項目	曜日	時間	場所
透析 予防	月	9:00	糖尿病 センター
	火	9:00	
		10:00 11:30	
	水・木	9:00～ 11:30	
金	9:00		
	10:00		
	10:30		

(3) 栄養治療食管理部門及び栄養管理室

1) 栄養治療食

各疾患に対応し、一般治療食 45 種、特別治療食 60 種の治療食を提供している。また、より詳細な栄養管理が必要な患者には個別の対応を行っている。



2) 褥瘡チーム

詳細は「保健医療福祉ネットワーク部」参照。

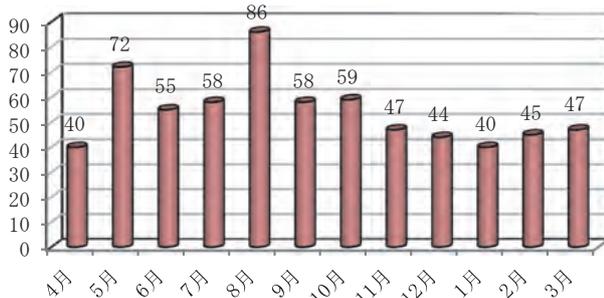
3) 心不全教室

循環器内科の医師、看護師、薬剤師、理学療法士とともに「塩分・水分について」、「運動について」とテーマを分けて心不全教室を月 2 回開催している。他職種が各々専門の見地より講義を行い、心不全患者の退院後の QOL 向上を目指している。少人数制とし、退院後を視野に入れた質問を積極的に受け、各個人の生活につながる支援を心掛けている。

4. 活動実績

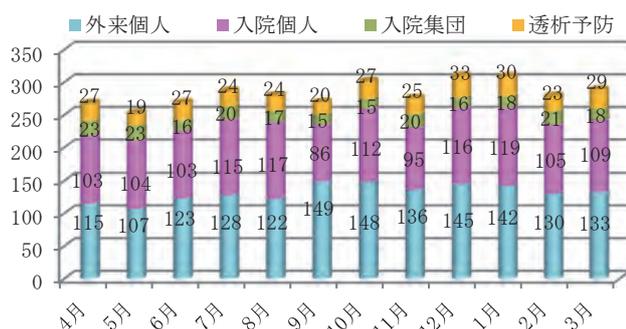
(1) 栄養サポート部門 (NST)

令和元年度 NST 加算件数



(2) 栄養代謝制御部門

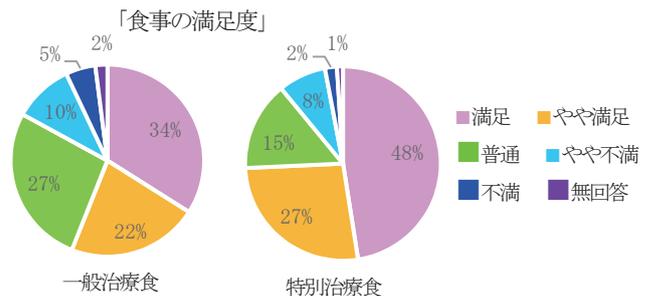
令和元年度 栄養食事指導件数



(3) 栄養治療食管理部門及び栄養管理室

食事アンケート調査を行い、入院患者の食事満足度の向上に努めている。令和元年度は嗜好性を考慮した食事提供に取り組み、一般・特別治療食ともに「改善した方が良いと思われるメニュー」を問う項目を追加した。6月に実施した結果は下記の通りであった。

改善した方が良いメニューについて、一般・特別治療食ともに、魚料理についての意見（臭い、焼魚の硬さ、小骨の多さ等）が多く見られたため、調理方法や献立内容を改めて検討した。今後もより満足度の高い病院食の提供に努める。



また、日本摂食嚥下リハビリテーション学会「嚥下調整食分類 2013」に準じ、嚥下食の見直しを行った。嚥下調整分類 2013 に沿った食事分類としたことで食事の形態が統一された。患者の嚥下機能に合わせた食事のオーダーがしやすくなったことで安全性が向上することが期待される。さらに、全国の医療・福祉関係の施設が共通して使用している嚥下調整食分類 2013 に基づくことで、他施設とのスムーズな連携が可能となる。

5. その他

〔施設認定〕

- ・日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム (NST) 稼働認定施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士認定教育施設

〔取得資格〕

- ・日本糖尿病療養指導士 5 名
- ・日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 5 名
- ・日本病態栄養学会 病態栄養専門 (認定) 管理栄養士 3 名
- ・日本病態栄養学会 がん病態栄養専門管理栄養士 3 名
- ・日本肥満学会 生活習慣病改善指導士 1 名
- ・日本臨床栄養協会 栄養相談専門士 2 名

〔患者会のサポート〕

名称	対象	開催状況
あけぼの会	糖尿病	総会・食事会：年 1 回 レクリエーション：年 1 回
ひまわりの会	腹膜透析	食事会・勉強会：年 1 回